

# 起動するまでの手順書

## 目次

全体的な流れ	P.1
<b>1</b> ユーザー登録とライセンスキーの確認	P.3
<b>2</b> サービス利用情報の登録	P.6
<b>3</b> 『奉行製品』との接続	P.10
<b>4</b> 「導入ガイド」の確認	P.12
補足：プロキシサーバーをご利用の方へ	P.13

# 全体的な流れ

## 1 ユーザー登録とライセンスキーの確認 P. 3

「登録番号カード」を用意し、弊社サポートサイト（奉行 Net サービス）から、ユーザー情報を登録します。



以下のメールが送られてきます。

[ 件名 ] 【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内

### 《重要！》

複数の『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または、『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』と『奉行クラウド』は、同じ環境 (同じ「OBC i D」) で利用できます。

そのため、すでに『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』をご利用いただいているかどうかで、以降の手順が異なります。

※『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

(『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。)

右の **2** へ進む

## 2 サービス利用情報の登録 P. 6

※ **2** の手順は、すでに『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』をご利用か否かで異なります。(詳細は P. 6)

手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』  
または『奉行クラウド』を・・・

### はじめてご利用の方 P. 7

メールアドレスを入力します。



以下のメールが送られてきます。



[ 件名 ]  
【OBC i D】サービス利用  
情報を登録してください



法人名および、「登録番号」と  
「ライセンスキー」を入力します。



以下のメールが送られてきます。



[ 件名 ]  
【OBC i D】導入処理を  
はじめてください



### すでにご利用の方 P. 9

ご利用の『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』を起動して、  
ライセンスを追加します。



※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』は、  
必ず新しい法人データが作成され、  
別の法人データとして管理されます。



以下のメールが送られてきます。



[ 件名 ]  
【OBC i D】導入処理を  
はじめてください



### 3 『奉行製品』との接続

P. 10

当サービスにログインします。



サービスで接続情報をコピーし、『奉行製品』で貼り付けます。

### 4 「導入ガイド」の確認

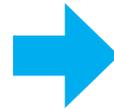
P. 12

# 1 ユーザー登録とライセンスキーの確認

①

<https://id.obc.jp/hc/entry>

「登録番号カード」を用意し、インターネットで、こちらへアクセス



②

「登録番号カード」に記載されている登録番号および確認番号を入力します。  
※確認番号は、サービスによっては「登録番号」用と「OMSSコード」用の2種類の記載がある場合があります。その場合は「登録番号」用の「確認番号」を入力します。

登録番号の確認を行います

入力してクリック

③

各規約の同意に  チェック

ここをクリック

利用規約に同意して進む



④

製品登録番号の入力、確認 / 各種利用規約の確認、同意 / お客様情報の入力 / 入力内容確認 / 登録完了

製品登録番号の入力、確認

重要  
すでに登録済みの製品をお持ちのお客様は、必ずこちらから登録済みの「製品登録番号」と「電話番号」を入力して、ユーザー登録を済ませてください。  
※すでに登録済みの製品を読み込まないでユーザー登録してしまうとプログラムやマニュアルのダウンロードが実行しなくなる場合があります。

お客様情報（会社名、住所、電話番号等）の入力を省略できます。  
以前に登録済みのお客様情報を利用して新規に製品のユーザー登録を行う場合は、登録済み製品番号と電話番号を入力し、「製品情報の読み込み」ボタンをクリックしてください。

製品登録番号  
電話番号

製品情報の読み込み

2製品目以降の場合は、ユーザー登録済み製品の「製品登録番号」と「電話番号」を入力し、「製品情報の読み込み」ボタンをクリックすると、お客様情報（会社名等）の入力を省略できます。

◎ OBC membership support & service情報

OBC membership support & serviceは、専任サービスを「安心」かつ「満足」して使い続けていただくためのサービスです。

OMSSコード 必須

OMSS確認番号 必須

「OMSS確認番号」が記載された申込書をお持ちの場合は、「OMSSコード」と合わせてこちらに入力してください。サービスを開始いただけます。  
※「OMSS確認番号」が記載されていない場合は、必ず数ですが、登録申込書の送付をお願い申し上げます。  
※OBC membership support & serviceの概要については、こちらをご覧ください。

確認する

入力してクリック

確認番号は、サービスによっては「登録番号」用と「OMSSコード」用の2種類の記載がある場合があります。ここでは、「登録番号カード」に記載されている「OMSSコード」用の確認番号を入力します。

⑤

製品登録番号の入力、確認 / 各種利用規約の確認、同意 / お客様情報の入力 / 入力内容確認 / 登録完了

製品登録番号の入力、確認

◎ ユーザー情報

以下の情報で登録を行います。

製品名  
製品登録番号  
会社名  
会社名カナ  
郵便番号  
住所  
電話番号

確認する

確認してクリック

⑥

製品登録番号の入力、確認 / 各種利用規約の確認、同意 / お客様情報の入力 / 入力内容確認 / 登録完了

製品登録番号の入力、確認

◎ OBC membership support & service情報

OBC membership support & serviceは、専任サービスを「安心」かつ「満足」して使い続けていただくためのサービスです。

OMSSコード  
OMSS確認番号

ご登録いただきましたメールアドレス宛に、ユーザー登録完了のご案内をお送りいたします。  
24時間以内のメールが届かない場合は、お手数ですが弊社サービスデスクにお問い合わせください。

続けて他の製品のユーザー登録を行う場合は以下より行ってください。

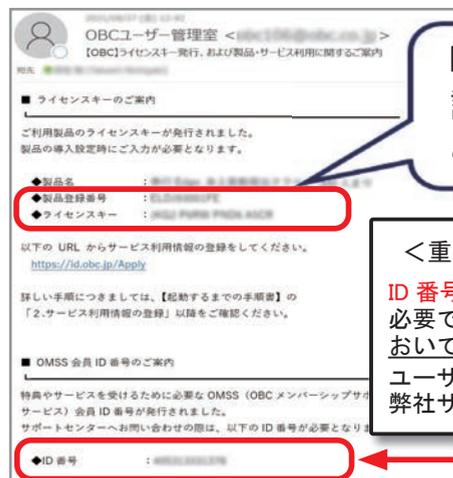
続けてユーザー登録を行う



※ご契約いただいたサービスによっては、表示内容が多少異なる場合がございます。

⑦ ⑤で登録したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内」



「登録番号」と「ライセンスキー」が記載されています。この後の手順で使用します。

<重要！>

ID番号は弊社サポートセンターにお問い合わせいただく際に必要です。このメールを保管するか、またはID番号を控えておいてください。

ユーザー登録が完了した後にご不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの「**2** サービス利用情報の登録」の手順は、すでに『奉行クラウド Edge (OBC iD利用)』または『奉行クラウド』をご利用いただいているかで手順が異なります。

<注>手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの **2** へ進みます。

## 2 サービス利用情報の登録

ご利用状況に応じて、選択してください。

<https://id.obc.jp/Apply>

インターネットで、こちらへアクセス

### 『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』を…

※『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』 ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド for 奉行シリーズ』 ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』 ・『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

(『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。)

### はじめてご利用の方

『奉行クラウド』へようこそ

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様

奉行クラウド 奉行ERPクラウド 奉行クラウド Edge

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様は、[進む] ボタンをクリックしてください。

進む

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様は、[進む] ボタンをクリックしてください。

進む

### すでにご利用の方

例えば、『勘定奉行クラウド』を利用中に『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』を購入した際に、別の「OBC i D」で管理したい場合など、今まで利用していた『奉行クラウド Edge』や『奉行クラウド』とは、別のクラウド環境で利用したい場合は、次ページの「■ はじめてご利用の方」の手順を行ってください。ただし、後から法人データを一元管理できませんので、ご注意ください。

P. 9 へ

次ページへ

## ■ はじめてご利用の方

①

『奉行クラウド』へようこそ

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様

奉行クラウド 奉行ERPクラウド  
奉行クラウド Edge

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様は、【進む】ボタンをクリックしてください。

進む

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様は、【進む】ボタンをクリックしてください。

進む

下側の「進む」を  
クリック

クリック

②

メールアドレスの入力

STEP 1 メールアドレスの入力 STEP 2 サービス利用情報の入力

入力したメールアドレスに、サービス利用情報を登録するURLを入力してください。

メールアドレス

送信 戻る

業務用のメールアドレスを入力します。

入力してクリック

※メールアドレスは、導入した後で「管理ポータル」の[利用者]メニューで変更できます。

③

入力したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。  
件名「【OBC i D】サービス利用情報を登録してください」

OBC i D <no-reply@obc.jp>  
【OBC i D】サービス利用情報を登録してください

宛先

以下のURLにアクセスして、サービス利用情報を登録してください。  
<https://○○○○○○○○○○○○○○>

【注意】  
URLの有効期限は、1時間（2024/08/08 12:00 まで）です。  
有効期限を過ぎた場合は、お手数ですが再度「メールアドレスの入力」からやりなおしてください。

本アドレスは送信専用です。  
返信いただいてもお答えできませんので、ご注意ください。

ここをクリック

④

サービス利用情報の入力

STEP 1 メールアドレスの入力 STEP 2 サービス利用情報の入力 STEP 3 サービス利用情報の確認 STEP 4 サービス利用環境の構築

法人情報

法人番号     後で入力する場合は、「9 0000 0000 0000」を入力

法人名

法人名カナ

ライセンス情報

サービス

登録番号

ライセンスキー

次へ

P.5の⑦のメールに記載されている登録番号とライセンスキーを入力

⑤

**サービス利用情報の確認**

STEP 1 メールアドレスの入力    STEP 2 サービス利用情報の入力    **STEP 3 サービス利用情報の確認**    STEP 4 サービス利用環境の構築

以下の内容でサービス利用情報を登録し、環境を構築します。登録はまだ完了していません。内容をご確認のうえ、[実行]ボタンをクリックしてください。

法人情報	
法人番号	9 0000 0000 0000
法人名	OBC 商事株式会社
法人名カナ	オービシーショウジカブシキカイシャ

ライセンス情報	
サービス	奉行Edge 管理クラウド
登録番号	0000000000000000
ライセンスキー	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

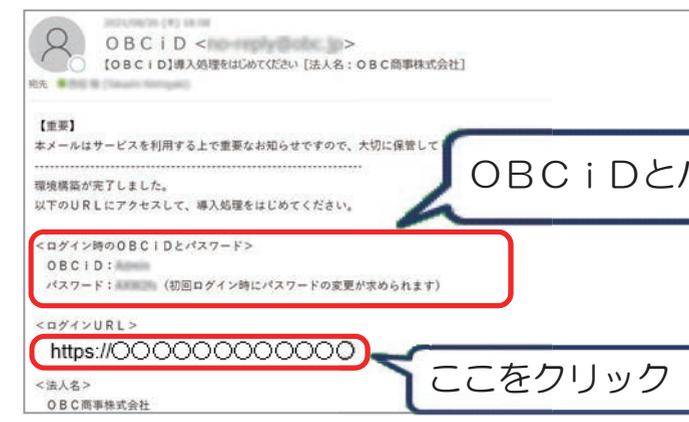
利用者情報	
サービス	奉行Edge 管理クラウド
OBC i D	Admin
氏名	システム管理者
メールアドレス	test@edge.oabc.co.jp

クリック

⑥

続いて、以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC i D】 導入処理をはじめてください」



OBC i Dとパスワード

ここをクリック

**注意** 上記のメールに記載されている URL は、今後も当サービスを起動する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールの URL をお伝えください。

⑦



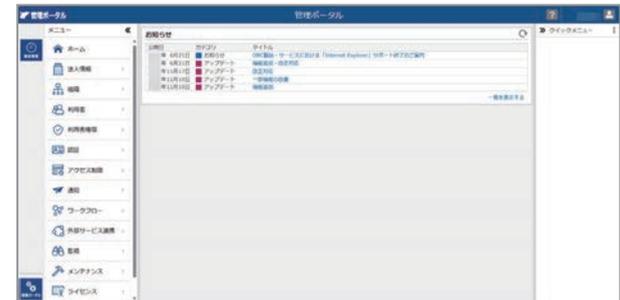
統合業務プラットフォーム  
**奉行クラウド**

OBC i D: [input field]

OBC i Dとパスワードを入力して、をクリック

⑧

サービスが起動します。



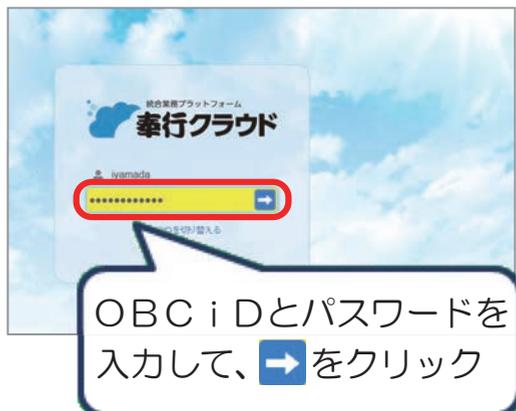
以上で、「■ はじめてご利用の方」の 2 の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

P. 10 の 3 へ進みます。

## ■ すでにご利用の方

- ① 『管理ポータル』 を利用できるユーザーで、ご利用中の『奉行クラウド Edge』 にログインします。



※ [ライセンス]-[ライセンス情報] メニューのメニュー権限があるユーザーでログインしてください。

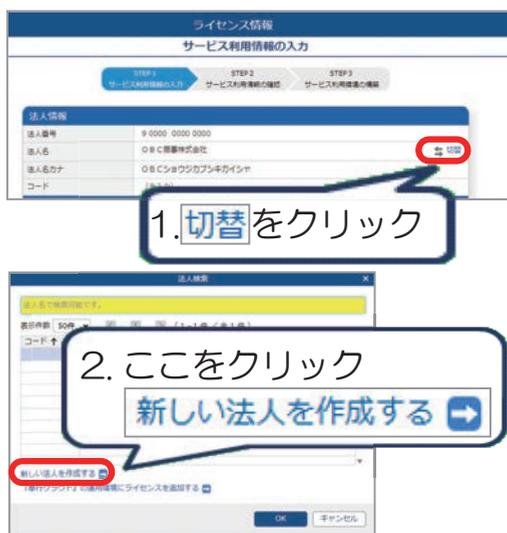
- ② 『管理ポータル』 を起動します。



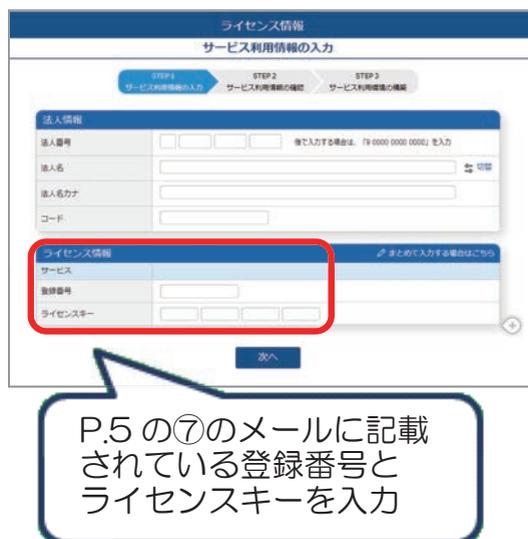
- ③ 1. [ライセンス]-[ライセンス情報] メニューを選択します。  
2. 「ライセンス追加」 をクリックします。



- ④ 1. 法人名の「切替」 をクリックします。  
2. 「新しい法人を作成する」 をクリックします。



- ⑤ 法人情報とライセンス情報を入力し、[次へ] をクリックします。



- ⑥ [実行] をクリックします。  
以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC i D】導入処理をはじめてください」



※メールに記載されている URL は、今後も当サービスを開始する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールの URL をお伝えください。

以上で、「■ すでにご利用の方」の ② の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

次ページへ進みます。

### 3 『奉行製品』との接続

あらかじめ、連携する『奉行製品』でデータ領域を作成しておいてください。

※手順は連携する『奉行製品』の「ガイドブック」をご参照ください。

※プロキシサーバーを利用している場合は、奉行製品と接続する前に必要な設定があります。  
先に P.13 「補足：プロキシサーバーをご利用の方へ」の設定を確認してください。

① [法人情報]-[法人情報]メニューを開きます。

基本	
コード	
法人名	OBC商事株式会社
法人名カナ	オービーシーショウジ
法人番号	9 0000 0000 0000
メモ	

接続先	
勤怠管理クラウド	https://hromssp-
給与明細電子化クラウド	https://hromssp-
身上異動届出クラウド	https://hromssp-
OBC i D 管理ポータル	https://id-
法人接続情報	
企業識別ID	

情報のコピー をクリック

② 任意の「システム連携ID」を入力します。

※「システム連携ID」は、『奉行製品』と連携するためのIDです。  
管理者用のIDとは別に、任意のIDを用意してください。

『奉行Smart/奉行11』と『奉行クラウドEdge』を連携するためのシステム連携IDを登録してください。

OBC i D	必須	
パスワード	必須	
氏名		システム連携ID

登録 キャンセル

入力してクリック

登録します。よろしいですか？

OK キャンセル

クリック

③

クリップボードにコピーしました。

『奉行Smart/奉行11』と連携する手順は、リンク先をご確認ください。  
『奉行Smart/奉行11』と連携する

OK

クリック

※上記画面が表示されない場合は、③へ進みます。

④『奉行製品』で以下のメニューを選択します。

『勘定奉行 Smart』『勘定奉行 11』の[導入処理]-[運用設定]-[仕訳入力クラウド連携設定]メニュー

①ここをクリック

②システム連携ID  
を入力

※自動でマスターのアップロードが開始されます。  
[マスターアップロード状況確認]画面が表示されますので、すべてのマスターの  
実行状況が「完了」と表示されたら、サービスを利用できます。  
(画面を閉じて、マスターのアップロードの処理は継続されます。)

以上で、「③『奉行製品』との接続」までの作業は完了です。

続いて、当サービスの導入作業に進みます。

ここからの作業は、奉行 Net サービスで当サービスの「導入ガイド」をご確認ください。

「導入ガイド」の確認方法は、次ページをご参照ください。

## 4 「導入ガイド」の確認

続いて、当サービスの導入ガイドを確認してください。

①

<https://www.obcnet.jp/docdl/>

インターネットで、  
こちらへアクセス



②

<※>・登録番号は、当サービス（『奉行クラウドEdge』用）の登録番号です。  
（連携する『奉行製品』の登録番号ではありません。）  
・電話番号は、P. 4の⑤で登録した番号です。

登録番号と電話番号<※>  
を入力してクリック

③

「導入ガイド」をクリックして、確認します。



導入手順を記載しています。

続いて、「導入ガイド」に記載されている手順にしたがって、  
当サービスの導入を進めてください。

## 補足：プロキシサーバーをご利用の方へ

当サービスは、『奉行製品』とインターネットを介して接続しています。

プロキシサーバーをご利用の場合は、『奉行製品』から当サービスに接続する際に、あらかじめ、『奉行製品』がセットアップされているコンピュータで以下の設定が必要です。

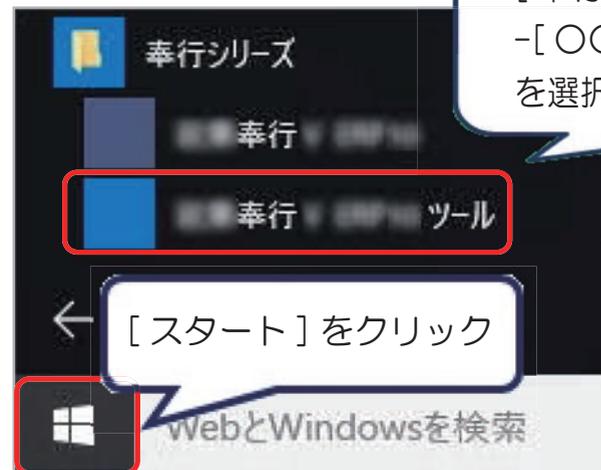
※プロキシサーバーを利用しているかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

注意



『奉行 11』の「ネットワーク版」と連携する場合は、『奉行 11』のサーバー用コンピュータで設定します。

①



[奉行〇〇シリーズ]  
-[〇〇奉行〇〇 (Server) ツール]  
を選択

[スタート] をクリック

webとWindowsを検索

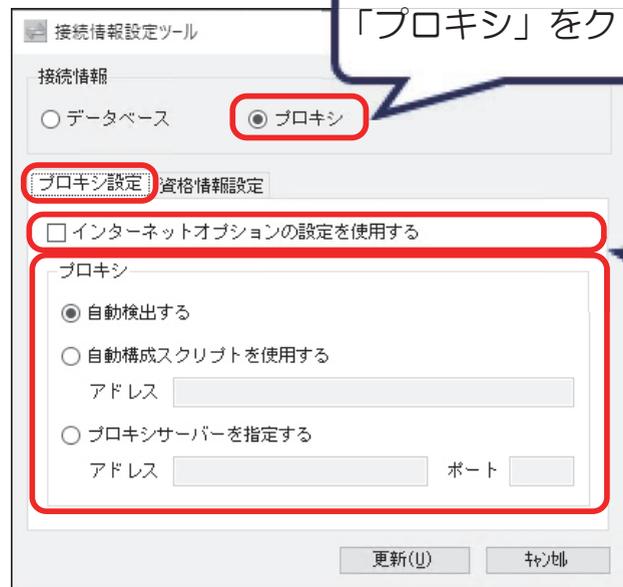
※画面はOSや製品により、多少異なります。

②



「接続情報設定ツール」  
の [アイコン] をクリック

③



「プロキシ」をクリック

[プロキシ設定] ページで  
「インターネットオプションの設定を  
使用する」のチェックを外し、  
プロキシサーバーへ接続する方法を  
設定します。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけを  
インターネット通信できるように設定している場合は、  
続いて次ページへ進みます。

設定していない場合は、[更新] ボタンをクリックして  
設定作業が完了です。

※画面は製品により、多少異なります。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが  
表示された場合は、[はい] ボタンを  
クリックしてください。

## プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合

① [資格情報設定] ページを開き、「資格情報を設定する」にチェックを付けます。

② 「ユーザー名」と「パスワード」に、プロキシサーバーの認証に使うユーザー名とパスワードを入力します。

③ クリック

以上で、プロキシサーバーに関する設定の作業は完了です。

---

— 禁 無 断 転 載 —

2026年 1月23日 第22版

著 者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ  
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>

---